

モニタリング結果報告書 (令和6年度)

1. 施設概要

施設名	神奈川県立武道館		
所在地	横浜市港北区岸根町725番地		
サイトURL	https://shinkokanagawakenritsu-budokan.com/		
根拠条例	神奈川県立武道館条例		
設置目的(設置時期)	武道の振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため (昭和57年6月)		
指定管理者名	シンコースポーツ株式会社		
指定期間	R2.4.1～R7.3.31 (2020年)～(2025年)	施設所管課 (事務所)	スポーツ課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>令和6年度は4月20日に改修工事後リニューアルオープンとなり、1年半の休館明けでの施設稼働となつた。利用者数の目標設定においては、コロナ禍以前の利用者数を勘案して設定したが、4月の稼働日が少ないこともあり目標未達でB評価となつた。改修工事による1年半の休館を考慮すると、目標未達は指定管理者の責によるものだけではないと考える。ヨガ教室の導入や人気武道教室の追加開催等、利用者数の拡大に積極的に取り組んでいることは評価できる。</p> <p>次に利用者の満足度評価は指定管理初年度から続けてS評価となつたことは評価できる点である。利用者アンケートにおいて、団体からのフィードバックとして「職員の対応が良い」という声が多数あがっており、施設利用者目線での運営ができているものと思われる。</p> <p>最後に、収支状況の評価がB評価となつたが、主な要因は利用料も含め概ね予算通りの収入であったものの、改修工事後の物品調達、プラインド等修繕費、植栽費用など維持管理費が嵩んだことと、空調や床暖房の稼働により電気料金が嵩んだことで支出が膨らんだことによるものである。</p> <p>上記より、3項目評価判定表に基づきA評価の結果となつた。</p> <p>施設情報については、HPの更新を適時に実施し、県公報や館内外の掲示板、タウン誌への教室案内など紙媒体での情報発信も積極的に行い、県内武道振興へも大きく寄与していると評価できる。指定期間最終年度で初めて1年間通して稼働することができたことになるが、管理や運営に問題となるところは見当たらず、安定した運営であったと評価できる。企業のこれまでのノウハウを活かした自主事業の立上げ等で施設利用者の拡大や県民の健康増進に積極的に取り組むことを期待する。</p>	
<各項目の詳細説明> <p>◆管理運営等の状況：事業計画に基づく武道教室の開催や武道館利用を促進するための効果的な自主事業（稼働率の低い会議室や柔道場を使用）を継続的に実施したこと、また施設の維持管理業務においても利用者の要望等をよく聴き、迅速に対応したことにより、指定期間最終年度も、各団体との間でより良い信頼関係を構築・維持することができた。設備・備品関係については、適時適切に補修や交換を実施し利用者に不便をかけないよう配慮した。日々の巡回業務などにより利用者の安全や事故の未然防止により、事故なく管理運営ができている。また、自主事業においては社会福祉協議会と連携して社会貢献を図るなどしたことは評価できる。</p> <p>◆利用状況：利用者数が目標達成率91.9%となり、B評価となつた。2年間の新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策による利用休止や利用人数制限等による武道人口の減少と、1年半に及ぶ改修工事による休館で、武道館利用者の戻りが思うほど進まなかつたことが要因として考えられる。小学生武道教室の開講においては、近隣の幼稚園、小学校等の教育施設に対する教室開催の呼びかけや、また、武道教室の開講においても、ホームページやタウン誌への掲載、駅や屋外掲示板を活用した広報活動を行つたものの、目標にはやや届かなかつた。</p> <p>◆利用者の満足度：満足度調査を9月と3月で2回実施した。「よい」以上（上位二段階）の評価が利用条件、職員の対応、総合評価で100.0%と高評価を得たためS評価とした。回収率は対象団体に対する呼びかけに努めた結果95.1%と高い数字となつた。</p> <p>◆収支状況：収入は目標通り遂行できた。支出については、光熱費の高騰による電気料金が予算より嵩んだこと、また、埋設水道管の修繕やプラインドカーテンの設置等で修繕費が嵩んだことで予算を超過し、収支比率が97.06%となりB評価となつたが、自主事業収益によりカバーできていることは評価できる。</p> <p>◆苦情・要望等：剣道場の床が滑りやすいなどの意見はあったが、指定管理者に起因する要望・苦情等はなかつた。</p> <p>◆事故・不祥事等：なし</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況：県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他：なし</p>	

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。 S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要
A	B	S	B	

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現地調査等の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	現地調査を兼ねて毎月定例打合せを実施した。
意見交換等の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	県と指定管理者との間で定例会を実施し、毎月の利用状況、連絡・協議事項、修繕工事の実施状況等について共有した。
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関するコメント
施設における平等なサービス提供	施設情報は、適正かつ迅速なサービスの提供を基本スタンスとし、県広報・ホームページ・館内館外掲示板や岸根公園駅の掲示板等の様々な媒体を通じて県民に対する情報提供に努めた。また、近隣にある幼稚園・小学校13校への武道教室等の宣伝広告を配布するなどを行った。	引き続き、適切な運営及びサービスの充実に努めもらいたい。
武道の普及・進行に資する取組	令和6年度：利用人数（延べ）183,718名の結果であった。この利用者数は新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策による施設利用者数制限や武道館大規模改修工事で約4年間フルに稼働できなかつた期間が長ったことを踏まえると、妥当な状況と考える。なお、事業計画通り以下の武道振興を図った。 1. 武道指導者研修実施（なぎなた、弓道） 2. 青少年武道練成会実施（柔道、剣道、弓道、空手道、なぎなた、銃剣道） 3. 一般稽古実施（5種目、4～3月実施）→13,421人 4. 武道教室実施（8種目10教室） 5. 小学生武道教室実施（3種目6教室） 6. 武道体験教室実施（9種目） 7. 自主事業の健康づくり教室実施（5種目） 武道教室と自主事業で18,440人が武道館を利用した。	令和4年10月から令和6年3月武道館改修工事で休館し、4月に物品の移動・整備を行い、4/20リニューアルオープンした。
施設の維持管理とサービスの向上	より快適なサービスを提供するにあたり、施設の日常点検を隨時行い、修繕等が必要な場合には適宜迅速に対処した。（抜粋） 〔委託清掃業務〕 ・年一回…ガラス清掃、受水槽清掃、高木植栽管理 〔サービス向上〕 ・休館日の隔週化 ・職員の接客教育の実施 ・意見箱の設置 〔設備面の維持管理〕 ・3回/日の道場及び館内点検	引き続き、適切な運営及びサービスの充実に努めもらいたい。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
<p>書道教室の開催 稼働率の低い会議室の有効利用及び武道を行わない県民に対しても書道を切り口として武道館の利用・アピールを目的とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1期 6教室 (4~6月) 受講者数 107名 ・第2期 6教室 (7~9月) 受講者数 98名 ・第3期 6教室 (10~12月) 受講者数 105名 ・第4期 6教室 (1~3月) 受講者数 104名
<p>健康づくり事業ヨガ教室の実施 平日稼働率の低い柔道場の有効利用及び県民の健康増進を図るため、ヨガ教室を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1期 ヨガ教室 (4~6月) 受講者数 59名 ・第2期 ヨガ教室 (7~9月) 受講者数 59名 ・第3期 ヨガ教室 (10~12月) 受講者数 75名 ・第4期 ヨガ教室 (1~3月) 受講者数 77名
<p>健康づくり事業生活筋力ゆっくりプログラム教室の実施 上記同様、会議室の有効利用及び県民の健康増進、生活習慣病予防を図るため、中高年を対象とした健康づくり教室を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1期 生活筋力ゆっくりプログラム教室 受講者数 12名 ・第2期 生活筋力ゆっくりプログラム教室 受講者数 15名 ・第3期 生活筋力ゆっくりプログラム教室 受講者数 19名
<p>健康づくり事業ラウンドフィットネスの実施 上記同様、会議室の有効利用及び県民の健康増進を図るため、油圧式トレーニングマシンによる筋力運動とリズムに合わせたステップによる有酸素運動を交互に実施する健康づくり教室を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ラウンドフィットネス (4月~9月) 利用者数 660名
<p>武道教室を増設して実施 従来は夜間の弓道教室は2回であった、弓道教室応募者が定員の2倍以上であることを踏まえ、武道の普及のため夜間の弓道教室2教室増設した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期 初級弓道・夜間教室 (10~12月) 受講者数 55名 ・第4期 中級弓道・夜間教室 (1~3月) 受講者数 64名

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B： 85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
B	

	前々年度	前年度	令和6年度
利用者数※	72,581	0	183,718
対前年度比			
目標値	110,000	0	200,000
目標達成率	66.0%		91.9%

目標値の設定根拠：コロナ禍以前の目標値を参考としつつ、改修工事後の営業再開時期が4月下旬になったこと及び指定管理者が管理している他の施設のコロナ禍後の利用者数を鑑みて設定した。

利用者数の算出方法（対象）： 延べ来場者数の集計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

<備考>
令和4年10月から令和6年4月19日まで改修工事及び再オープン準備により休館となったため、令和6年度は4月下旬より営業開始。

7. 利用者の満足度

評価	『評価の目安』 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	年間2回を9月と翌年3月に調査	上位二段階の評価（年計）：①施設97.4%②管理98.7%③利用条件100.0%④職員の対応100.0%⑤総合評価100.0%と高評価を得た。令和5年度の改修工事により施設に関する評価が大幅に向上了。利用条件、職員の対応において100%の満足度となった点は特筆できる。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 「施設・設備」「管理・運営」「利用条件」「職員対応」「総合評価」の5項目

実施した調査の配布方法 直接配布・メール等 回収数／配布数 77 / 81 = 95.1%

配布(サンプル)対象 武道館利用の主な武道サークル・県武道連盟

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	53	24	0	0	77	
回答率	68.8%	31.2%	0.0%	0.0%		
前年度の回答数	-	-	-	-	0	
前年度回答率						
回答率の対前年度比						

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

改修工事の工期の延長により、令和5年度は終年休業となつたことから未実施。

8. 収支状況

評価	『評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設』 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳	収入合計		支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	25,839	7,776	0	武道教室等の見込み額は利用料金に含む	33,615	33,615	0		
	決算	25,655	4,725	3,788	武道教室2,117 一般稽古67 自販機他1,604	34,168	37,805	-3,637	90.38%	
前年度	当初予算	22,067	3,438	0	武道教室等の見込み額は利用料金に含む	25,505	25,505	0		
	決算	18,511	0	5,206	工事業者による光熱水費等支払い4,620 原油価格高騰に係る補填586	23,717	23,463	254	101.08%	
令和6年度	当初予算	37,655	14,721	0	武道教室等の見込み額は利用料金に含む	52,376	52,376	0		
	決算	37,655	9,609	5,884	自販機電気料	53,148	54,759	-1,611	97.06%	

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和6年度 /

前年度 /

前々年度 /

<備考>

改修工事後の物品の調達、修繕、植栽管理費用が嵩んだこと及び空調設備・床暖房稼働による電気料金が嵩んだことで、支出が収入を上回ったが、自主事業によりカバーできている。

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合には概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合には内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合にはその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。